

葉たばこの品質向上をめざして!

接触型 葉たばこわき芽抑制剤

コンタクト

(デシルアルコール乳剤)

[有効成分] デシルアルコール 78.0% [性状] 無色澄明可乳化油状液体 [人畜毒性] 普通物(毒劇物に該当しないものを察するという通称)
[危険物表示] 第4類第三石油類 [包装] 1ℓ×12本/ケース



特長

- 有効成分は散布後約1日で揮散消失し、残留しません。
- 接触型のわき芽抑制作用を有するため、本葉の伸長・肥大には影響ありません。葉たばこの品質向上が期待できます。
- 有効成分は食品添加物に指定されています。

【日本たばこ産業(株)平成25年たばこ用農薬の使用基準抜粋】

平成24年6月現在の登録内容

作物名	使用目的	希釈倍数(倍)	1株当り散布液量(ml)	使用時期	使用方法	本剤の総使用回数	デシルアルコールを含む農薬の総使用回数
たばこ	わき芽抑制	黄色種 30~40	10~15	発蕾期から心止期まで	スポット散布	6回以内	6回以内
			20~30	心止後	スポット散布 連続散布 定速散布 (但し、定速散布は「CONTACT専用定速散布装置」を用いること)		
		在来種(3在、5在) ・パーレー種 30~40	10~15	心止期	スポット散布	3回以内	3回以内
			20~30	心止後			
		在来種(2在) 40	10~15	発蕾期	スポット散布	3回以内	3回以内
			20~30	心止後			

※デシルアルコール・ブトルアリン乳剤(イエローリボンス)を併用する場合には、デシルアルコールを含む農薬の総使用回数は、黄色種は5回以内、在来種・パーレー種は2回以内としてください。

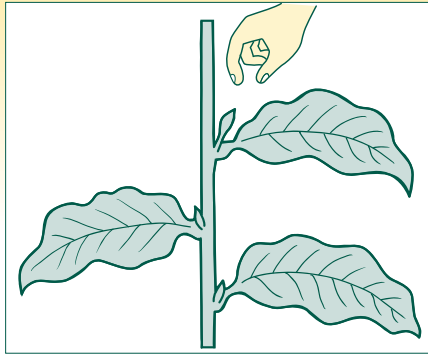
※※「CONTACT専用定速散布装置」における注意事項 ・使用可能な品種は黄色種、剤はCONTACTに限り、心止後以降での使用を厳守してください。

・CONTACT単用散布体系での使用に限り、他剤との併用散布体系では使用しないでください。

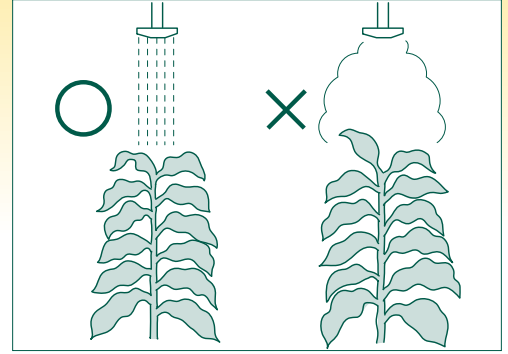
【CONTACTの上手な使い方】



①CONTACTの散布濃度は30~40倍です。散布前によく攪拌してください。



②効果的な散布のタイミングはわき芽の大きさが小豆大程度の時期です。心止時におよそ3cm以上のわき芽はあらかじめ手摘みしておきましょう。



③散布は専用ノズル(スポット噴口)を使いましょう。薬液は幹の真上から散布して、わき芽に十分かかるように注意してください。散布薬量は、不必要にかけすぎて地際部にたれたり、わき芽のない下部までかかることのないようにしましょう。

⚠ 使用上の注意事項

1. 所要量を所定量の水でうすめ、よくかき混ぜてから散布してください。
2. 接触型のわき芽抑制剤で、散布液がたばこのわき芽部に接触して効果を発揮するので、散布はたばこの頂部より幹に沿って行い、薬液がわき芽部に十分接触するように特に注意してください。
3. すでに大きくなったわき芽には十分な効果が期待できないので、1回のみを使用の場合は、心止後なるべく早い時期に所定希釈液を散布してください。
4. 降雨などにより、散布が遅れてわき芽が伸長した場合は、大きく伸びたわき芽(3cm以上)を摘芽してから散布してください。
5. 散布後の降雨は、効果を減じる恐れがあるので降雨の予想される場合は散布を避けてください。
6. 散布に当たっては、周囲の作物にかからないように注意してください。
7. ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - ②養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意するなど、ミツバチの危害防止に努めてください。
8. 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
9. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

10. 原液は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。
 11. 原液は皮膚に対して刺激性があるので、散布液調製時には不浸透性手袋を着用して、薬剤が皮膚に付着しないよう注意してください。また散布液も皮膚に対して刺激性があるので、皮膚に付着しないように注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
 12. 散布の際は手袋・長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
 13. 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
 14. 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- ※使用する場合には日本たばこ産業株式会社の指導を受けてください。

貯蔵上の注意

1. 火気を避け、直射日光の当たらない低温で子供の手の届かない場所に密栓して保管してください。
2. 厳冬期には、凝固することがありますが、融解後の有効成分には変化はありません。

●使用前にはラベルをよく読む。●ラベルの記載以外には使用しない。●本剤は小児の手の届く所には置かない。●空容器は圃場などに放置せず、適切に処理する。

取扱い

OAT アグリオ株式会社
<http://www.oat-agrio.co.jp/>
 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-3-1

コールセンター: ☎ 0120-210-928 (9:00~12:00・13:00~17:00 土・日・祭日休載)